

令和元年度地方創生推進交付金事業
町の効果検証

【事業名】 スポーツとブランドが融合した「里都まちなかい」魅力発信プロジェクト

【交付期間】 平成29年度～令和元年度の3年間

主な取組内容	事業費	重要業績評価指標（KPI）					
		指標	平成28年度 (事業開始前)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	達成度
<p>(1) 里都まち交流拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆里都まち交流拠点オープン一周年イベントの実施 (里都まちキッチンで焼いたピザの販売や抽選等) ◆夜間のイベント「令和の夏」の開催(定期開催) ◆ブランド認証品「ぼんぼん麺」「みかんラーメン」及び地元野菜をふんだんに使った「なかまるくんプレート」の提供開始 ◆町内のパン屋による里都まちキッチンでの焼き立てパン販売を開始 <p>(2) ブランドプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆町内企業の自社イベントでのブランド品販売 ◆ブランド部会長による講演会の開催 ◆ブランドマルシェの開催 ◆商品を売り込むためのFCPシート・チラシ作成に関する研修会や販売実証の実施 ◆販路開拓に向けた営業・商談の実施 <p>(3) スポーツプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆新しいイベント「里都まちなかいファミリースポーツデイ&ブランドマルシェ」の開催 ◆総合型地域スポーツクラブの前身組織「里都まちふらっとスポーツ」によるプレ事業の実施 (竹馬、クライミング、パラスポーツ体験) ◆ノルディック・ウォーク教室及びイベントの開催 指導員育成に向けた講習の実施 ◆「テニスのつどい」の開催 <p>(4) プロモーションプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆町内外のイベントでのPRブース出展 ◆町外及び町民の意識調査の実施 ◆アクションプラン策定に向けた庁内ヒアリング等の実施 	<p>【H29】 14,554,437円 【H30】 11,869,434円 【R1】 10,036,854円</p> <p>※交付金の交付金額は事業費の1/2</p>	① なかい里都まちCAFÉ事業収入 (アンテナショップ物販・飲食売上等)	0円	【目標値】 2,000千円	【目標値】 4,700千円	【目標値】 7,300千円	達成
				【実績値】 7,167千円	【実績値】 12,767千円	【実績値】 13,000千円 ※見込み	
		② 社会増減と自然増減による人口増減数	△39人	【目標値】 △60人	【目標値】 △75人	【目標値】 △90人	達成
				【実績値】 △71人	【実績値】 △80人	【実績値】 △88人	
③ 東名高速道路秦野中井IC1日平均利用台数	16,300台	【目標値】 16,800台	【目標値】 17,100台	【目標値】 17,500台	未達成		
		【実績値】 16,513台	【実績値】 16,498台	【実績値】 16,707台			

町の効果検証

里都まち交流拠点の運営、ブランド開発事業者への支援、スポーツイベント・組織の立ち上げ、各種コンテンツを活用したプロモーションなどに取り組んでいく上で、地方創生推進交付金を有効に活用しながら新しい取組にチャレンジし、それにより新しい町の魅力の創出に繋がったことから、当該交付金を活用したことは有意義であったと評価できる。KPIの実績としては、なかい里都まちCAFÉの事業収入が、目標値を大きく上回っており、大きな成果だと言える。人口増減数は、最終的に目標値を達成することができた。一方で、秦野中井IC1日平均利用台数は、目標値に達しなかった。本事業に対する交付金は、令和元年度で終了となるが、新たに誕生した魅力をさらに発展させていく必要がある。今後は、より効率的な事業展開を図り、事業の評価・改善を行いながら継続することで、人口減少の抑制や町の活性化に取り組んでいく。

令和元年度地方創生推進交付金事業
町の効果検証

【事業名】 県西地域活性化プロジェクト推進事業

【交付期間】 平成29年度～令和2年度の4年間（事業計画は平成28年度からの5年間）

主な取組内容	事業費	重要業績評価指標（KPI）					
		指標	平成27年度 ～平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	達成度
<ul style="list-style-type: none"> ◆「未病センター・なかい健康づくりステーション」の利用促進に向けた取組 ◆「みんラジ」、民間企業協力による「健康づくり講座～熱中症予防・上手な水分補給～」、「ステップ運動教室」「骨密度測定会」などの開催 ◆「なかい体操サポーター」の養成 ◆「未病いやしの里の駅」である「なかい里都まちC A F E」を活用した各種事業のPR ◆県と県西地域2市8町で取り組む「県西地域活性化プロジェクト」との連携による「スタンプラリー事業」の実施 	【H29】996,895円 【H30】345,047円 【R1】189,598円 ※交付金の交付金額は事業費の1/2	① 県西地域2市8町における社会増減	【27年度時点】 △2,315人 【28年度】 目標：△1,600人 実績：△169人	【目標値】 △1,200人 【実績値】 +66人	【目標値】 △800人 【実績値】 △217人	【目標値】 △400人 【実績値】 ±0人	達成
		② 県西地域2市8町における入込観光客数	【27年度時点】 3,410万人 【28年度】 目標：3,440万人 実績：3,387万人	【目標値】 3,490万人 【実績値】 3,617万人	【目標値】 3,552万人 【実績値】 3,654万人	【目標値】 3,632万人 【実績値】 —	—
		③ 「県西未病観光コンシェルジュ」講座修了者数	【27年度時点】 206人 【28年度】 目標：280人 実績：275人	【目標値】 360人 【実績値】 371人	【目標値】 430人 【実績値】 456人	【目標値】 500人 【実績値】 535人	達成
町の効果検証							
<p>当該事業は、県及び県西地域2市8町の連携事業として取り組んできた。当町の役割である「未病いやしの里づくり」の推進、未病の「見える化」を図る拠点の活用や未病改善プログラムの普及等によるライフスタイルを見直す動機付けを行った。「未病を改善する」をキーワードに、地域の魅力を高めアピールしていくことで、交流人口の増加と地域の活性化を図るといふ当該事業の目的に結び付く取組を展開できた。</p> <p>当町の社会増減については、近年、社会減が進んでいる傾向にあるため、さらなる働きかけが必要になる。一方で、なかい里都まちC A F Eの活用や、他自治体と連携した広域事業の展開により、交流人口の増加が図られたと評価できる。</p> <p>本交付金は、令和2年度まで交付が予定されているため、引き続き交付金を有効に活用しながら事業を進め、令和3年度以降は、より効率的な事業展開を検討しながら、目標達成に向けた事業展開を図る。</p>							